

基本理念
 社員で考え社員のための
 労働運動を目指す、企業内
 労働組合
 心とこころをつなぐ相互扶
 助活動と、次代につながる社会
 正義の実現を目指す
 平成 28 年正月号

JUSTICE

ジェイアール・イーストユニオン
J R 連 合

ジェイアール・イーストユニオン
 発行者 菅野 一位
 編集者 教 宣 部
 〒105-0021
 東京都港区東新橋 2-8-28
 TEL (J R) 057-7333
 TEL (NTT) 03-6452-9687



年頭のあいさつ
 ジェイアール・イーストユニオン
 中央執行委員長
 菅野 一位

新年あけまして、おめでとうございます。ジェイアール・イーストユニオン中央執行委員長の菅野です。新年を迎え、中央本部執行部を代表し今年一年の抱負と決意を申し上げます。まずは、この間奮闘されてこられた組合員と役員の方々に、JREユニオンとして二度目の新年を迎えることができましたことに感謝致します。

昨年のJR東日本の業績は大変好調であり、第二四半期の中間決算は過去最高の増収増益となりましたが、期末手当の3・18カ月と夏季手当の2・87カ月と合わせた年間臨給6・05カ月は、過去最高支給時の6・20カ月を越えることができず、過去最高支給時の6・20カ月を越えることができませんでした。しかし、JR東日本のこの堅調な動きは中間決算を上方修正し、年度末決算に向けて更に頑張っている社員としても期待感に気持ちを膨らませていると思えます。中央本部としても、組合員の負託に応えるべく「2016春季生活闘争」を皮切りに、「2016夏季手当交渉」へ向けた運動の展開をし、しっかりと作り上げていきたいと考えます。

さて、今春5月には結成から3年目となり抱える課題の克服に向けて、より一層の奮闘を組合員の皆さんにはお願いすることになります。

まず一点目は安全への取り組みです。昨年は4月の山手線電柱倒壊事故に始まり、東北新幹線の架線断線、京浜東北線での架線切断、横浜線では作業方法誤りによる電柱倒壊と重大インシデント事故が多発し、また、パートナー会社に出向していたJR社員が、保守用車の整備中に油圧装置に挟まれ死亡するという痛ましい事故も発生しています。

本部はこれらの状況を異常事態にとらえ、安全経協分科会でも厳しく追及し議論しました。安全は会社の責務において最大限取り組まなければならぬ事柄であり、事故を封じ込められないこれまでの現状について更に踏み込んだ労使間の議論をしていきたいと考えます。併せて、地本・支社間においても実態に即した交渉を強く展開することを要請します。事故のない職場、安心して働ける職場があつてこそ、安全で安心して会社を利用いただける鉄道輸送が提供できることを、しっかりと会社と議論していきましよう。

二点目は「2016春季生活闘争」に向けた取り組みです。2015春闘は、アベノミクスが主導したような、政治利用された感のある春闘でした。2016春闘においても、参議院選挙を見据えた安倍自公政権は3年連続の賃上げを経団連に要請するなど、労働組合を目標立たせない状況を作り出そうとしています。私たちは働く側の主張として、連合を中心とした労働組合主体の春闘へと持ち込まなければなりません。JREユニオンは、今春闘においても昨年同様「ベア2%程度」、「3000円程度の賃上げ」と「3000円相当の手当等改善要求」を組み合わせた要求を掲げる方向で検討しています。最終的には2月に開催する中央委員会提起いたしますが、好調の中にある会社とは強い気持ちで交渉に臨んでいきたいと考えます。

三点目は組織拡大への取り組みです。私たちの労働組合観は決して間違っている方向にはありません。「働く人を守り、職場を守り、そして会社を守る」。その中で私たちの未来は明るいものとなって、この会社で幸せな人生を送れると思います。企業内労働組合として、「社員のために社員で作る労働組合」を次代に継承することが最大の責務です。そのためには組織拡大が最大の課題となります。JREユニオンへの理解を促進させ、結集を強く呼び掛けていかなければなりません。

この間、私たちはJR東日本の将来を憂い、未来を見つめた組合運動を展開してきました。なかなか理解されづらいところもあり、「失敗を重ねながらも懲りない人」とも言われてきましたが、この「懲りない人たち」が新しい時代を切り拓くことになりそうです。懲りない、あきらめない私たちの運動を「イーストユニオン イノベーション2016」2018」として、三つのパラダイムを掲げ3年をかけて組合変革に挑戦したいと考えています。

詳細については2月の中央委員会やホームページ(JRTU I E Uで検索)で具体的にお知らせいたしますが、端的には「自立・自律した強い組合員」を創ることで、JR東日本の将来を担う若い社員が「共感と正義感」を持って、労組再編に自信を深め取り組んでいけるようにするための土台となる労働組合を創造することです。今年度の残された期間は、準備期間としてイノベーション行動を展開していきます。ぜひ全組合員に、このイノベーションの達成に向けた積極的な行動展開をお願いいたします。

最後になりますが、2016年が組合員の皆さんとご家族の皆さんにとって、ご健勝で幸多い年になりますよう心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

JRTU ジェイアール・イーストユニオン

